

令和7年度 府中市立第五小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。 - 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。 - 長音、拗音、促音、撥音などの表し方や助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解すること。 - 友達や先生の話最後まで聞いて、内容を捉えること。	- 字を書く時の正しい姿勢や鉛筆の持ち方を教室掲示し、文字の形や筆順の復習を継続的に行う。【発見・表現】 - 毎週末、日記の宿題に取り組ませることで、文を書くことに慣れさせ、正しい表記で書けるように指導する。【表現】 「聞き方あいうえお」などを活用し、聞き方のポイントを指導することで、正しい聞き方を身に付けられるようにする。【発見・表現】		
算数	10の合成・分解を理解すること。 - 文章問題の読み取りや答えの単位の表し方について理解すること。 - 加法の計算に比べ、減法の計算をさらに習熟すること。	- ブロック操作や計算練習を授業の中で繰り返し行い、10の合成と分解、繰り上がり・繰り下がり計算を確実に理解させる。【表現】 - 既習事項を教室掲示したり、授業の最初に復習したりして、常時確認できるようにする。【決定・表現】 - プリントやeライブラリ等を活用し、減法の計算の復習を継続して行い、定着を図る。【表現】		
生活	- 植物や生き物の観察、活動から得た気づきを言葉に表すこと。 - 観察カードに具体的に絵を描くこと。	- 実物や写真などを利用して、疑問・感動・驚きを表現できるようにする。【発見・対話・表現】 - 観察の視点や観察カードの書き方を具体的に指導し、めあてに合った学習ができるようにする。【決定・表現】		
音楽	- 鍵盤ハーモニカのタンギングや運指を身に付けること。 - 曲想に合わせて自分の思いやイメージを表現すること。	- 鍵盤練習では、個人練習ができる時間を授業内に確保し、個別指導を丁寧にやる。【表現】 - 友達の真似をしたり、表現方法を共有したりすることで、表現の仕方を身に付けさせる。【発見・対話・表現】		
図画工作	- 作品のテーマに沿って、自分の思いやイメージをもち、表現すること。 - ハサミやのりなどの道具を使って、切ったり、折ったり、貼ったりする経験が足りないこと。 - 道具の扱いに個人差があること。	- 作品作りの前に、具体例を挙げたり友達と考える場を設定したりすることで、作りたいもののイメージをもてるようにする。【対話・決定】 - いろいろな表現方法を体験させたり、動画を見たりして児童の活動時間を十分に確保し、用具の使い方をスモールステップで指導する。【表現】 - 図工の学習だけでなく、普段の生活の中で、「切る・折る・貼る」活動を意識的に取り入れ、技術が身に付くようにする。【発見・表現】		
体育	- 鉄棒で逆さになる、ボールを投げたり捕ったりするなどの運動経験が足りず、恐怖心が強いこと。 - 運動経験に個人差があること。	- 恐怖心を和らげるために、条件を変えた運動の場を複数設けて段階を積んで練習させ、成功体験を積み重ねられるようにする。【決定・表現】 - 校庭で遊べる日は外で遊ぶように声を掛け、走る、跳ぶ、投げるなどの様々な動きを授業以外にも経験させる。【対話・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立第五小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 漢字の定着に個人差があること。 - 文章の中で既習の漢字を適切に活用すること。 - 助詞や促音を正しく使って文を書くこと。 - 場に応じた声の大きさや話す速さを意識して自分の考えを発表したり、大事なことを落とさないように集中して話を聞いたりすること。	- 漢字ドリルや日常のノート指導の取り組みを通して、積極的に漢字を活用していけるようにする。間違っているときや使っていないときは、添削して、直すように促す。【発見・表現】 - 週に1回程度、日記の宿題を出す。添削したり児童の作品を紹介して読み合ったりすることで、正しく書き表す力を高める。【発見・表現】 - 対話やグループで活動する場面を意図的に設定する。友達と一緒に学んでいることが自覚できるように、相手を意識しながら話したり聞いたりできる授業展開を考える。【対話・表現】		
算数	- 時刻と時間、長さ、水のかさなどの内容を理解すること。 - 繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのあるひき算をさらに習熟すること。	- 具体物や半具体物を用い、動かしたり操作したりする経験をさせ、学習の定着を図るようにする。また、既習事項を教室に掲示したり、プリントで復習したりして、常時確認できるようにする。【発見・表現】 - 朝学習の時間を有効に使い、eライブラリやプリント学習に取り組ませ、十分に身に付けられるようにする。【発見・表現】		
生活	生き物や植物の観察の際に、気付いたことを書き表したり、正確に絵に描いたりすること。	観察する視点を項目立てて提示し、観察カードの書き方を具体的に指導する。また、タブレットを活用し、写真を拡大したり、様々な方向から観察したりすることができるようにする。【発見・表現】		
音楽	- 音楽や拍に合わせて正確にリズムを打ったり、歌ったりすること。 - 鍵盤ハーモニカの技能に個人差があること。 - 学習課題への焦点化ができず、鑑賞能力が積み重ならないこと。	- 手拍子や打楽器で簡単なリズムを繰り返し打たせ、拍を感じさせるようにする。【表現】 - 基礎的な技能を丁寧に指導し、繰り返し練習させる。個別指導を行ったり、教え合いの活動を行ったりする。【対話・表現】 - 鑑賞のねらいを児童と確認し、その内容との関連を意識させながら鑑賞を行う。【発見・表現】		
図画工作	- 描きたいものや作りたいものを自分で考え、作品に表すことが難しく、具体的な作品のイメージがもちづらいこと。 - 作品作りに対して、創意工夫を凝らそうとすること。	- 表現したいものを具体的にどのように描くのかを考える時間を設ける。その際、教科書や教師作成の見本を提示することで、具体的なイメージをつかめるようにする。【決定】 - 友達の作品を見たり、自分の作品を紹介したりする鑑賞の時間を設け、よりよい作品づくりへの関心を促す。【発見・対話】		
体育	- 基本的な運動技能が未熟な児童が多く、日頃から運動をしている児童との個人差が大きいこと。 - 鉄棒やマット運動など一部の運動遊びで、逆さや回転の動きに対する恐怖心が強いこと。	- 運動量を確保し、目標をもって運動できるように工夫し、個々の体力向上に努める。【表現】 - 恐怖心を感じないよう補助器具を使ったり、児童が意欲的に取り組めるよう様々な場の設定をしたりするなど、安心して取り組める環境を作っていく。【決定】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立第五小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	- 物語文や説明文を読んで、登場人物がどういう状況なのか、どういう気持ちなのかを想像すること。 - 語彙を増やしたり、文章の書き方や言葉の使い方を正しく理解したりすること。	- 読んだ際に、言葉の意味について調べたり、実際にその行動をやってみたりすることでイメージを膨らませられるようにする。【表現・決定】 - 教科書についている「言葉のたから箱」を活用する。また、例えば「嬉しい」という言葉でも、他にどんな言葉で言い表せるかをグループやクラスで考えさせる。【発見・対話】		
算数	- 自分の考えをノートに書いたり、説明したりすることに個人差があること。 - 四則演算（特に、2 位数以上の加減や九九の範囲を超えた乗除など）をさらに習熟すること。 - 計算速度に個人差があること。	- 授業の中で書く場面、説明する場면을繰り返し設定する。【表現・対話】 - 友達と考えを交流したり、授業を振り返ったりする活動を大切にすること。【対話・表現】 - 習熟度別少人数指導の特性を生かし、実態に応じて内容の取り扱い方を工夫し、単元ごとに関連した既習事項を振り返る活動を設定する。【決定・表現】		
理科	- 実験の道具や用具を適切に扱い、材料の特性を活かして操作することに対して個人差があること。 - 活動のイメージをもったり、膨らませたりすること。	- 単元のはじめに道具の使い方と操作手順を提示しながら確認する。【発見・決定】 - イメージをもちやすくするために操作事例を複数提示し、グループで行う時間を設定する。【表現・対話】		
社会	- 用語を適切に用いて、分かりやすく説明すること。 - 地図やグラフなど、資料から分かることを読み取ること。	- 授業の中で出てくる大事な言葉を目立たせたり、授業の中で自分で文章を考えたりさせる。【発見・表現】 - 授業の中で読み取ったことを話し合わせて、共有する機会を増やす。【発見・対話】		
音楽	- 集中して楽器の練習に取り組むこと。 - 個人の能力向上だけでなく、友達と協働的に音楽を創りあげる姿勢を高めること。	- 練習段階を明らかにし、児童に各々の課題を認識させ、自分からすすんで取り組めるように声をかける。【発見・決定】 - ペアや小グループの練習を充実させるなど、互いに教え合う機会を増やす。【対話・表現】		
図画工作	- 道具や用具を適切に扱い、材料の特性を活かして創作することに対して個人差があること。 - 見通しをもって、自分が目指す作品を創りあげていくこと。 - 友達の作品などからイメージを膨らませ、自分の作品づくりに生かしていくこと。	- 単元の初めに、道具や用具、材料の特性・使い方を説明したり実演したりする【発見・決定】 - 材料の特性や表現技法について、ICT 機器を活用して具体的に示す。【表現・発見】 - 机の形や制作中に交流する時間をつくるなど環境を整える。【対話・決定】		
体育	- 運動に対して、自分の課題を意識したり、練習を工夫したりする経験が積ませること。 - 基礎的な体力や体の使い方など、運動に対する個人差が、運動に主体的に取り組む態度にも影響していること。	- ワークシート等を利用して、学習を振り返る活動を大切に、自分の成長と課題を見付ける。【表現・決定】 - 運動の楽しさを感じられるよう配慮し、一人一人の気付きや困りごとを話しやすくするために少集団活動を取り入れる。【発見・対話】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立第五小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 既習の漢字を日常生活で活用すること。 - 適切な言葉を用いて、文章を書くこと。 - 語彙力を高め、相手に自分の考えを適切に表現すること。	- 漢字を繰り返し書く活動を取り入れるとともに、漢字の意味や用法を押さえながら、習った漢字を定着させる。 【表現】 - 自分が書いた文章を読み直して、相手に伝わる文章となっているか、見直す時間を設ける。【決定】 - 読書活動を通して、語彙を豊かにし、話型を提示して自分の考えを表現する。【表現・対話】		
算数	- 問題文の内容を図や表に表したり、自分の考えをノートに書いて説明したりすること。 - 四則計算の習熟について個人差があること。	- 図や表を例示しながら、考えをまとめさせる。【表現】 - 習熟度に応じた課題を設定し、プリントやタブレット端末を活用して、演習問題に取り組ませる。【発見・決定】		
理科	- 事象との出会いから自分なりに問題を見出すこと。 - 自ら問題を見出したり、予想や仮説を立てたりすること。 - 見通しをもって観察や実験を行うこと。	- 単元の導入で十分に体験活動を行い、対話の中で疑問や気付きを得やすくする。【発見・対話】 - 児童の予想をもとに実験方法について考える時間を設け、実験の目的を明確にもたせる。【対話・表現】 - タブレット端末を活用して、結果の共有を行い、考察や結論の時間を充実させる。【発見】		
社会	- 学習したことを自分で選択した表現方法で分かりやすくまとめること。 - 自分の考えを聞き手に分かりやすく発表したり、質問したりすること。 - 統計グラフや資料から課題を読み取ること。	- 自分の考えを分かりやすく表現する力を高めるために、互いの成果物を見合い、よさを共有させる。【表現・発見】 - 話型を提示して、順序立てて説明できるようにさせる。【対話】 - 児童の興味・関心を引き出し、理解を促すために効果的に視覚情報を使い、資料の見せ方を工夫する。【発見・表現】		
音楽	- 曲想にふさわしい表現の工夫を考え、思いや意図をもつこと。 - すすんで音楽にかかわり、表したい音楽表現に必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けること。	- 曲想や歌詞の内容などより表現の工夫をペア、トリオ、グループで話し合い、自分の思いや意図をもてるようにしていく。【発見】【対話】 - 友達と関わる音楽活動を通して、楽しみながらすすんで取り組めるようにする。また、自分の表したい音楽表現ができるよう基礎的な表現技能を身に付けられる活動を継続して行う。【表現】【決定】		
図画工作	- 基礎基本を大切に、正しく道具を活用し、取り組めるようにすること。 - 自分や友達の作品のよいところを見つけたり、伝えたりすること。	- 道具の使い方を繰り返し経験させる。一人一人の達成度を把握し、評価して指導に生かす。【表現】 - 児童が互いの活動を見られるような場の設定を工夫する。鑑賞活動の中で様々な表現方法があることを伝え、自分らしい表現のよさや面白さ、美しさを理解させる。【対話】		
体育	- 運動技能の個人差が、意欲面にも大きく影響していること。 - 自分の課題を見付け、課題に合った場や練習方法を選ぶこと。 - 互いに動きを見合ったり、気付いたことや考えたことを伝えたりすること。	- 技能差があっても楽しめるような規則の工夫を児童が考え、意欲的に学習に取り組めるようにする。【表現・決定】 - 効果的な資料の提示や ICT 機器の活用など、一人一人が自己の課題を見付けられるように工夫する。また、段階に応じた（スモールステップ）場を準備し、自ら選択することができるようにする。【発見・決定】 - ペア、トリオ、グループなど、運動によって話し合いの形を変えながら、ICT 機器や資料などを活用して、互いの動きを見合う時間を設定する。【対話】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立第五小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 既習の漢字を文や文章の中で正しく使うこと。 - 説明的文章において、文章の構成を捉えて要旨をまとめること。 - 文章を目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりすること。	- 漢字を書く機会を増やしたり、漢字練習の方法を紹介したりして、漢字の定着を図る。【表現】 - ポイントや考え方、手順を示し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。【発見・表現】 - 単元全体を通して相手意識や目的意識を育む構成とする。また、具体的なモデル文を提示し、文章の構成や分量などの大まかな目安を示すことで、児童が安心して書き進められるように支援する。【表現】		
算数	- 新たな問題に対して、既習事項や図や式などを用いながら、解決すること。 - 小数のかけ算、わり算、割合や倍のもとめ方などを身に付けて、正確に計算処理する能力を高められるようにすること。 - 自分の考えをノートに分かりやすく表現できるようにすること。	- 課題を解決した際に、どのような考え方や見方がポイントだったかを指導する。そのために、単元を通して、育てたい見方・考え方を教師が明確にする。【発見・対話】 - ワークシートやタブレット端末を活用して、演習問題に取り組ませる。【決定】 - 図や表、文型を例示するなどして、思考の過程を分かりやすく表現させる。【表現・対話】		
理科	- 自然の事物・現象から問題を見出す力を身に付けること。 - 実験器具を正しく扱うこと。 - 実験結果を予想と比べて考察すること。	- 疑問をもてるような事象提示を行い、子供自身の気づきから問題を見いだせるようにする。【発見・対話】 - 事前に ICT で手順と注意事項を確認させる。使用後に再度手順を確認する機会を設定する。【対話・決定】 - 考察の視点を提示し、得られた結果から分かることを予想と比較して考察させる。【表現・決定】		
社会	- 地球儀や地図帳、統計などの資料から、情報を適切に読み取る力を身に付けること。 - 社会的事象について、主体的に課題を解決しようとし、自分からよりよい社会のためにできることを考えられるようにすること。	- 教師が資料を読み取る際の視点を示し、具体物やデジタル教材等を積極的に活用する。【発見・表現】 - 各単元において、人々に苦労や工夫に焦点を当て、自分たちの生活との関わりから課題に気付かせるようにする。【発見・決定】		
音楽	- 曲の特徴にふさわしい表現を考え、どのように歌ったり、演奏したり、音楽づくりをするかなどについて思いや意図を持てるようにすること。 - 自らの思いや考えを音楽で表現しようとする意欲をもち、仲間と協力しながら主体的に音楽活動に取り組む中で歌唱、器楽、音楽づくりなどの表現に必要な技能を身に付けようとする。	- ペアやトリオ、グループなど様々な学習形態を活用し、児童同士で学び合う時間を設定する。また ICT 機器活用で全体共有し、友達の考えと比較しながら自分の考えや思いをもてるようにする。【発見】【対話】 - 児童同士が関わり、楽しみながら学習し、音楽を愛好する心情を育てると共に基礎的な技能が高まるような活動を継続し、自分の目指す音楽表現ができるようにする。【決定】【表現】		
図画工作	- 道具の使い方など、基礎的な技能の力について、底上げを図る。 - 自分の表現に自信をもたせる。	- 材料を多めに用意し、何度も繰り返して表現できるようにし、道具の扱いに慣れさせる。【決定】【表現】 - 鑑賞活動の中で様々な表現方法があることを伝え、自分らしい表現のよさや面白さ、美しさを理解させる。【発見】【対話】		
家庭	- 道具や用具を安全に使い、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けること。 - 学んだことを生活の中で実践していこうとする態度を育むこと。	- 安全指導を繰り返し行いながら、実践的・体験的な活動をできるだけ多く取り入れる。【決定】 - 子供同士の教え合いを大切にし、個人やクラス全体のレベルを高めていけるようにする。【対話・決定】 - 友達との対話場面を増やし、自身の生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。【対話・表現】		
体育	- 運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けられるようにすること。 - チームで作戦を考えたり取組を認め合ったりし、友達と関わりながら運動をする楽しさや喜びを味わえるようにすること。	- 児童の多様な実態に応じて複数の活動の場を用意し、児童が自ら場を選択 - 作戦を考える時間を設けたり、ワークシートに友達のよさを書かせたりする。また、学習の中で自分の考えを友達に伝える時間を作る。【表現・対話】		
外国語	- 相手の考えや思いをよりわかろうとしながら話を聞くこと。 - 自分の考えや思いを、学んだ表現を使って伝えるように工夫すること。	- 世界の子供たちの生活や文化に関する動画視聴、調べ学習を充実させ、相手をより深く理解しようとするコミュニケーションを意識させる。【発見・対話】 - 学習の中で、児童が外国語を使う必然性を感じられるよう、コミュニケーションの目的を明確にし、実際に表現を活用する活動を充実させる。【決定・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立第五小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・目的に応じて、必要な情報を集めて整理し、分かりやすく表現すること。 ・言葉の意味や使い方を理解し、目的や意図に応じて適切な言葉を選んだり用いたりすること。	・タブレット端末を活用しながら、情報収集や構成メモの作成など、文章を書いたり自分の考えを話したりする前に内容の準備や検討が十分にできるようにする。【表現・対話】 ・読書活動の推進や国語辞典の活用などを通して、語彙力を高められるようにする。【表現】		
算数	・問題文を読み取り、図や表を用いながら自分の考えを分かりやすく表現すること。 ・様々な考えを交流し、よりよい解決方法を見付けるために粘り強く学ぶこと。 ・小数や分数のかけ算やわり算を正確に計算して答えを求めること。	・図や表を例示しながら、思考の過程を分かりやすく表現させる。【表現】 ・児童の考えを認めながら、対話的な活動を通して多様な視点に触れ、よりよい解決方法を導き出せるようにする。考【対話・発見】 ・習熟度に応じた課題に取り組ませたり、ワークシートやタブレット端末を活用して習熟を図ったりする。【決定】		
理科	・実験や観察などで得られた結果をもとに、結果から導き出せる事実と、結果だけでは判断できないことを区別して捉え、論理的に考えをまとめること。 ・学んだことを基に、身の回りの生活や自然を結び付け、考えを深めたり広げたりすること。	・仮説通りなら実験結果がどうなるかペアや小集団での対話を通して考えさせる。また、結果を全体で共有し、大体の傾向を捉えてから考察させる。【決定】 ・学期の始めに、学習のポイントとして考察の書き方を定型文で示す。【表現】 ・身の回りの中で学習と関わるものについて、共有しながら考えをまとめさせていく。【発見】		
社会	・学習した内容と、現代の社会生活とのつながりを考えること。 ・学習問題や学習課題について、自分なりの考えをもって、すすんで調べようとする。 ・資料に記載されていることの中から、学習課題に関連する内容に焦点を当てて整理すること。	・日常から時事問題にも目を向けさせ、社会の学習内容との関連を図るようにする。【対話・発見】 ・数名の児童に考えを発表させ、自分に近い考えを選ばせてから、調べさせるようにする。【発見】【表現】 ・何を調べようとしているのか、学習課題をはっきりとさせてから、調べるようにする。【表現】		
音楽	・曲の特徴にふさわしい表現を考え、どのように歌ったり、演奏したり、音楽づくりをするかなどについて思いや意図をもてるようにすること。 ・自らの思いや考えを音楽で表現しようとする意欲をもち、仲間と協力しながら主体的に音楽活動に取り組む中で歌唱、器楽、音楽づくりなどの表現に必要な技能を身に付けようとする。	・ペアやトリオ、グループなど様々な学習形態を活用し、児童同士で学び合う時間を設定する。またICT機器活用で全体共有し、友達の考えと比較しながら自分の考えや思いをもてるようにする。【発見】【対話】 ・児童同士が関わり、楽しみながら学習し、音楽を愛好する心情を育てると共に基礎的な技能が高まるような活動を継続し、自分の目指す音楽表現ができるようにする。【決定】【表現】		
図画工作	・どのように表したらよいか計画的に考え、表現活動を進められる力を身に付けること。 ・イメージを追求し、作品をねばり強く完成させること。	・時間を区切って、課題のポイントを知らせる。一人一人の達成度を把握し、評価して指導に生かす。【決定】 ・問いかけや聞き取りを十分に行いながらイメージを膨らませ、最後まで丁寧につくるよう声掛けをする。【対話・表現】		
家庭	・調理や裁縫の技術を身に付け、工夫して実際の家庭生活に生かそうとする力を身に付けること。 ・日常の生活場面を振り返りながら、自分や周囲がより快適に過ごすためにはどのような工夫や改善が必要かを考え、課題を見つけていくこと。	・身近な材料を使った調理や布製品の制作を通して、学習したことを生活に応用する実践の機会をつくる。【表現】 ・課題を発見する際、児童が日常の生活場面を振り返る活動を取り入れる。また課題の実践においては、家庭と連携できる機会を設ける。【発見】		
体育	・運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けること。 ・自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだり、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりすること。	・運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けるために、多様な練習メニューを用意し、児童が自分の体力や能力に応じて選択できるようにする。自己やチームの課題を明確にし、自分たちの特徴に応じた練習方法を選択し、実践する場を設ける。【発見・決定】 ・自己やチームの特徴に応じた作戦を考える際、競技前後にチームで話し合う時間を設け、実践を通じて戦略を共有し振り返る活動を行う。【表現・対話】		
外国語	・英語や外国の文化を学ぶ意味を考えながら、コミュニケーションを図れるようにすること。 ・自分の考えや思いを、学んだ表現を使って伝えるように工夫すること。 ・相手の状況に合わせてコミュニケーションを取ること。	・学習課題やコミュニケーションの目的を明確にもたせてから活動に入るようにする。【発見】 ・様々な立場の相手を想定して、どのようにすると良いコミュニケーションが取れるのか考え、実践して分かったことを確認させる。【表現・対話】 ・ICT機器を使って情報収集をしたり、スライドを活用したりして、より分かりやすく伝える工夫をさせる。【決定・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。